

教育警察委員会の概要(教育)			
開催年月日	令和4年3月14日	開会、閉会時間	13時45分から 14時04分まで
委員の出欠	出席：田中委員長、恩田副委員長 森(正)委員、伊藤(秀)委員、林委員、長屋委員、平野(恭)委員、 森(益)委員 欠席：なし		
(付託案件の可否)			
(予算) 議第15号 令和3年度岐阜県一般会計補正予算のうち歳出予算補正中教育警察委員会関係、繰越明許費補正中教育警察委員会関係及び債務負担行為補正中教育警察委員会関係 (可決)			
(質疑の内容)			
発言者	発言内容		
【3月補正予算】			
	(質疑なし)		
【報告】 損害賠償の額を定めることについて			
	(質疑なし)		
【その他】			
長屋委員	来年度から始まる高校の新科目「歴史総合」について、新しい科目として実施していくため、小中学校にも浸透させていかななくてはならないが、小中学校との連携についてはどのように考えているか。		
教育長	指導要領の改訂の説明にもあるが、中学校で歴史の大きな流れを勉強した上で学ぶ歴史総合について、高校の教員は、中学校での学びをしっかりと理解したうえで始めるように研修でも強調してきた。 また、地理も必修科目として実施することになったが、地理と歴史をそれぞれの総合科目で勉強し、その後に詳しく学ぶことは非常に意味がある。		
長屋委員	過去の大戦がなぜ起きたのか、子どもたちがしっかりと歴史認識を持つことが大事である。SNSの情報のみで判断したりすることがある中で、日本の歴史を世界史や地理の内容も連動して教えていくことをぜひやっていただきたい。 また、日本地図の活用について、以前に各校へ配付された「世界から見た日本」の図なども活用していただきたい。グローバルな子どもを育てる上で、掲示だけでなく、デジタルデータとして配付してもいいのではないかと。県教育委員会で作成し市町村教育委員会に配付すれば、世界や、日本で起きていることについて中学生などがタブレットで地図を見ながら議論できると思うので検討していただきたい。		
教育長	歴史教育はとても大切でありしっかりとやっていく。また、地図の活用、タブレットの		

	活用についても検討していく。
伊藤(秀)委員	日本の若者が、「日本が過去に悪いことをした。」と思いきることがないよう、自信をもった子どもに育ってもらいたいと思う。岐阜県にゆかりのある人物として、多くのユダヤ難民を救った樋口季一郎など、立派な人物のことを子どもたちに伝えていくことも自己肯定感を育てることになる。